

営業利益がグンと増えた

鹿島建設

3位に入った鹿島建設は、先週、今年4―6月期の決算を発表。連結営業利益が、前年同期と比べて168%増の47億円となったのが目を引いた。民主党権は公共工事の見直しを訴えている。ムダな工事削減は国民には歓迎でも、大手ゼネコンには逆風となりかねない。そのため、業績は厳しくなるとの見方が大半だが、同社は完成工事総利益率を4・7%から5・8%に改善。体質は強化されてきた。

発行済み株式数の0・48%に相当する487万株あまりの自社株を子会社の鹿島道路から15億円で買い取ることも明らかにした。また、8日には世界遺産の国宝・姫路城の「平成の大修理」の起工式が行われた。地元企業との共同企業体で白漆喰壁を塗り替える。歴史化粧直しにも注目が集まっている。

企業価値検索サービス ユーレット

アクセス上昇ランキング

(8月3～7日)

	銘柄	取引所	株価(円)
1	トヨタ自動車	東証1部	4090
2	凸版印刷	東証1部	950
3	鹿島建設	東証1部	280
4	東芝	東証1部	451
5	武富士	東証1部	486

*7日終値。http://www.ullet.com/

中間期、通期の業績見通しは期初予想から変えなかったが、市場では、「通期の連結営業利益は会社予想の290億円を上回る」(証券関係者)との期待も膨らんでいる。

000社の決算書を複数年にわたってデータベース化したサイト。売上高や営業CFなど、さまざまな角度から企業の経営を分析し、ワンクリックで他社と比較できる。経営方針の転換や経営リスクの高まりなど、市場が注目する銘柄のアクセスが増える傾向がある。

<日刊>第9880号

8月11日(火)

2009年8月10日発行

日刊 **ゲンダイ**

B版★